

防災学習指導案（防災ノート小学生（高学年）版）

1. 本時の題材 「学校からの帰り道で大地震が起こったら」（防災ノートP 5、6）

2. 本時の目標

- ・通学路上で、どのような危険が起こるかを考えることができる。
- ・状況や場面に応じた、適切な危険回避の方法について考えることができる。
- ・避難時に注意すべきことを理解することができる。

3. 準備物

防災ノート、指導者用防災ノート、パソコン、プロジェクター、追加の資料など

4. 本時の指導

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>本時のめあてを確認する。</p> <p style="text-align: center;"><本時のめあて></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">登下校中に大地震がおきたらどのような危険があるでしょうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで、どんなときにどんなところで地震にあったかなど、地震の経験について出させる。 ・登下校中に大きな地震が起こると、周りのようすは、どのようになってしまうのか考えさせる。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">（ブロック塀が壊れる、木が倒れる、橋が壊れる、 自動販売機が倒れる、崖がくずれる 等）</p> </div> ・登下校時に大地震が発生した場合について学習することを告げる。
展 開	<p>1. イラストを見て、どのような危険があるか考える。（P 5）</p> <p>2. 身を守る方法について考え、発表する。（P 6）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時における実際の対応を想定し、通学団ごとに分かれてグループやペアで考えさせる。 ・イラストや写真を見て、どのような危険なことが起こるか考えさせる。 ・危険と考えた理由についても発表させる。 ・絵の中で考えられる危険の他に、2次災害として、火災、爆発、土砂災害（地すべり、土石流、がけ崩れ）、液状化、津波などが考えられるが、地域の実情に応じて追加する。 ・身の守り方についても発表させるとよい。 ・イラスト以外の自分がよく行く場所でどのような危険があるかを考えさせると同時に、身の守り方を発表させる。

<p>展 開</p>	<p>(3.下校時の避難訓練を実施する。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時の初期対応として「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出して身を寄せ、自分で自分の身を守ることを指導する。 ・原則として、登下校中に地震が起こった場合は、自宅か学校の安全で近い方へ向かうことを指導する。ただし、自宅や学校が沿岸部にある場合は、高台へ逃げるよう指導する。 ・身の安全を確認できた場合は、できるだけ早く学校へ連絡するか、学校からの安全確認の連絡を待つよう指導する。 ・それぞれのグループの発表の後には、違うグループからの質問や感想の時間を取る。 <p>・避難訓練は後日実施してもよい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>本時の防災学習を活かし、現実感を持って避難訓練に参加できるように工夫する。</p> </div>
<p>ま と め</p>	<p>本時を振り返る。 (下校時の避難訓練を実施した場合は翌日に行う。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことや自分の思いを書かせる。 ・感想を発表させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ワークシートを持ち帰らせ、家族と防災について話し合う機会を設けると、防災意識のさらなる向上につながり、効果的である。</p> </div>

5. 評価の視点

- ・通学路の危険箇所を知り、適切な回避行動を取ることで、けがを防ぎ、安全な場所へ避難できることを理解できたか。